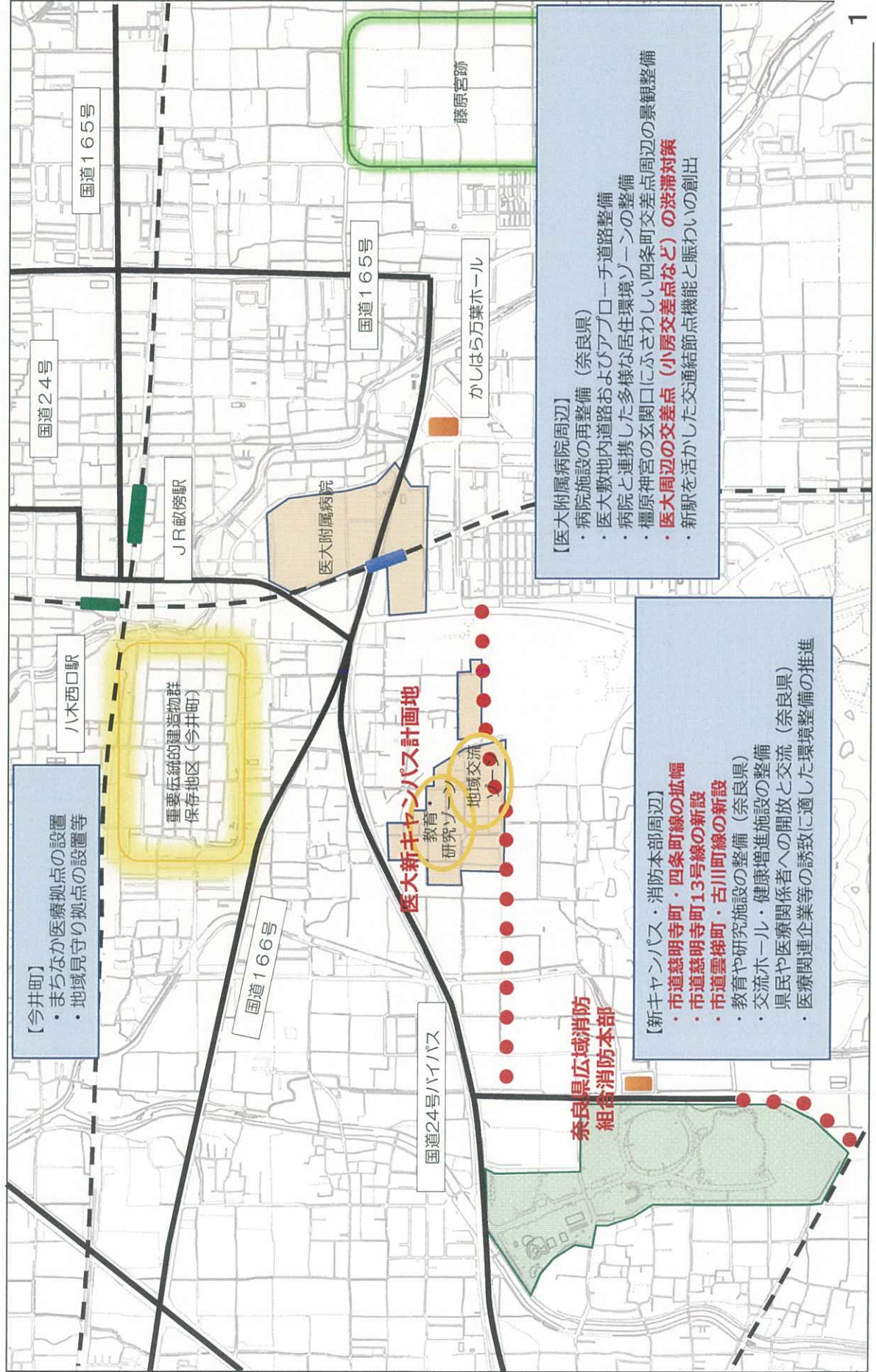


橿原市医大周辺地区
まちづくり部分基本構想

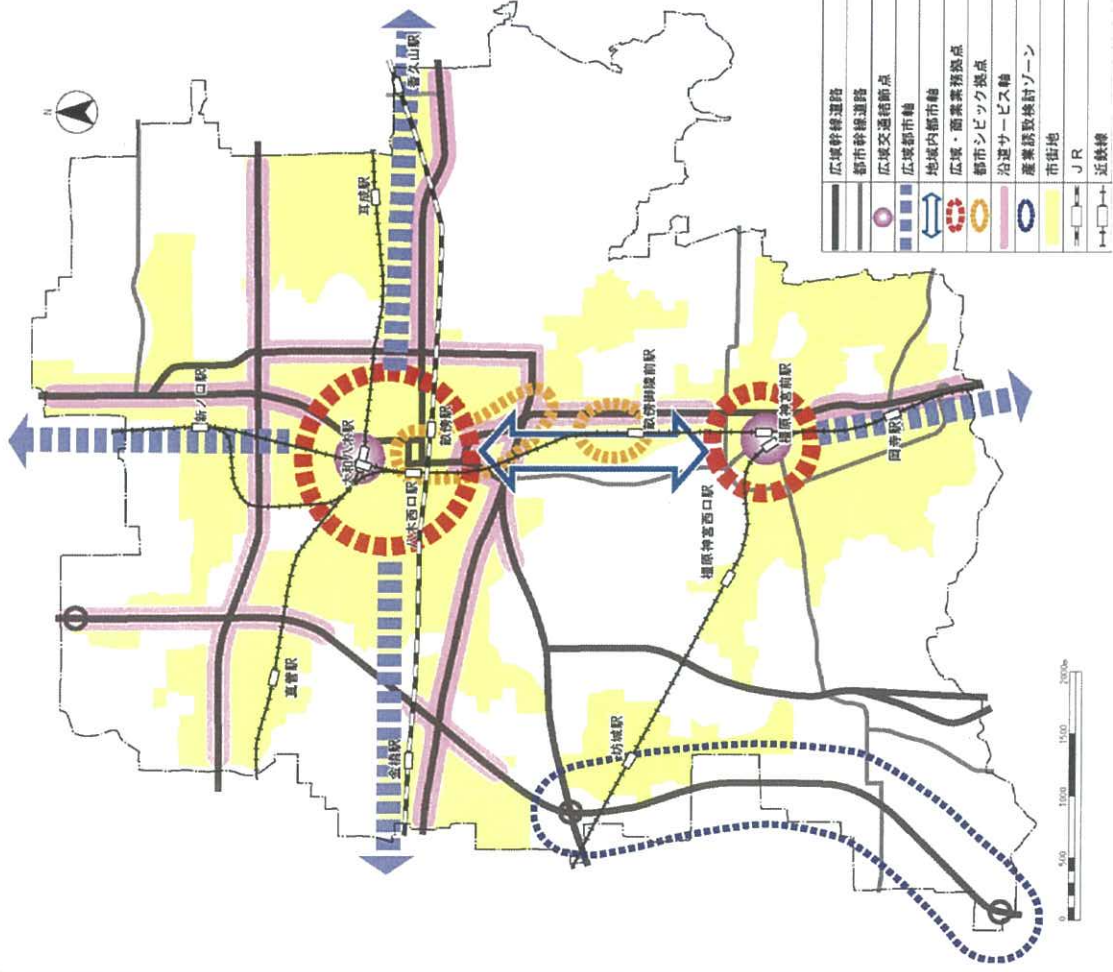
平成28年5月

橿原市

概要図【地区全体】



都市計画マスタープランによる位置づけ



・交通軸

京奈和自動車道、南阪奈道路などの自動車専用道路、都市間の広域的な交流・連携を担う都市計画道路奈良橿原線および橿原運動公園線、大和高田バイパス線、国道24号バイパス線、中和幹線、国道24号、165号、166号及び169号などの広域幹線道路、市内各地域間や拠点を相互に結ぶ県道大三輪十市線、多武峯見瀬線、戸毛久米線などの都市幹線道路など、都市活動を支える利便性と快適性を備えた交通ネットワークの形成を図ります。

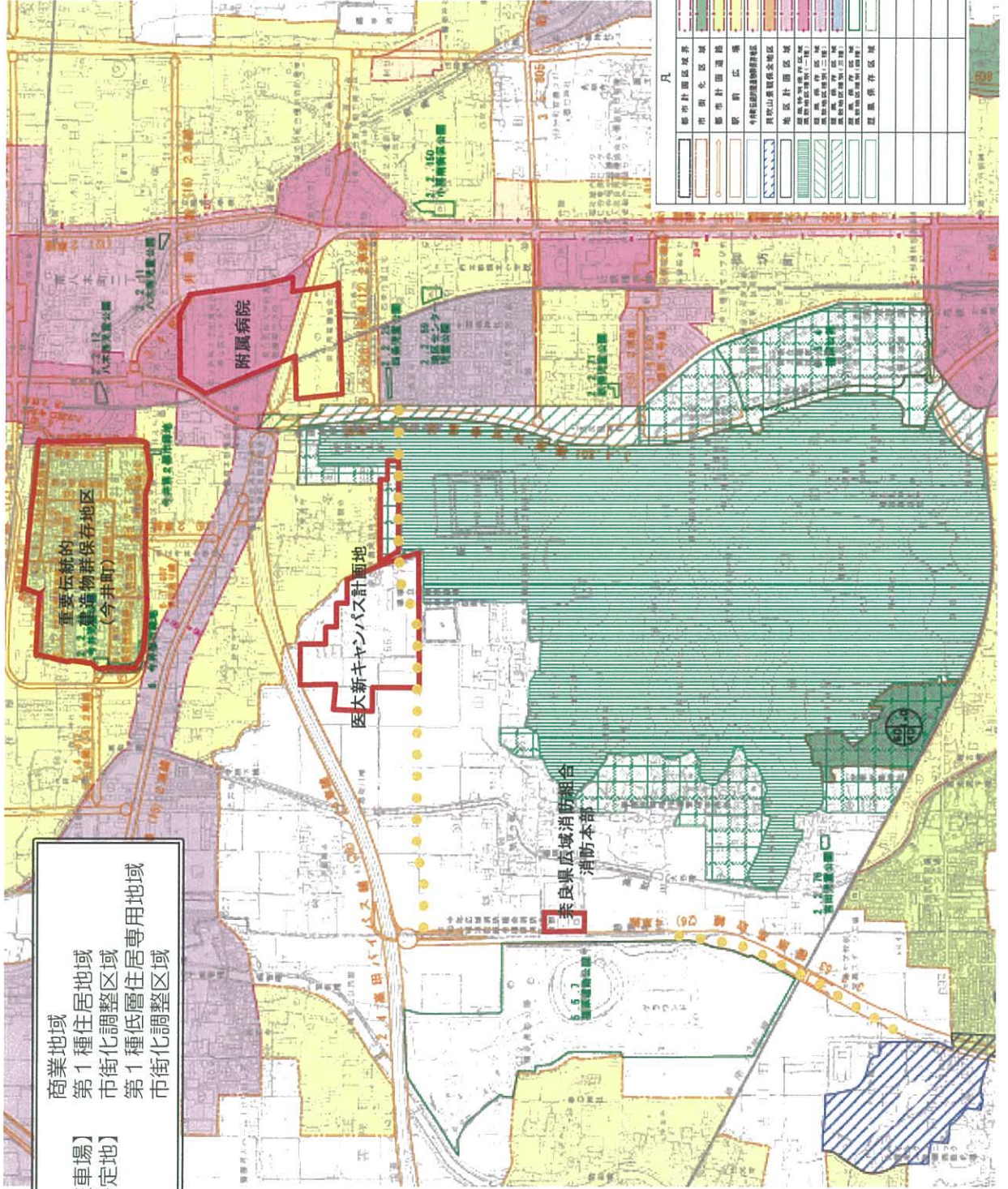
・都市シビック拠点

市役所周辺からかしはら万葉ホールにかけての行政・医療・文化などの公共施設の集積する地域や、畝傍御陵前駅周辺の公共施設の集積する地域は、中心核や今井町との一体的な利用に留意した、魅力ある歩行者回遊空間の形成を図ります。

地区の概要

<都市計画>

- 【医大病院】
- 【グラウンド・駐車場】
- 【新キャンパス予定地】
- 【今井町】
- 【消防本部】
- 商業地域
- 第1種住居地域
- 市街化調整区域
- 第1種低層住居専用地域
- 市街化調整区域



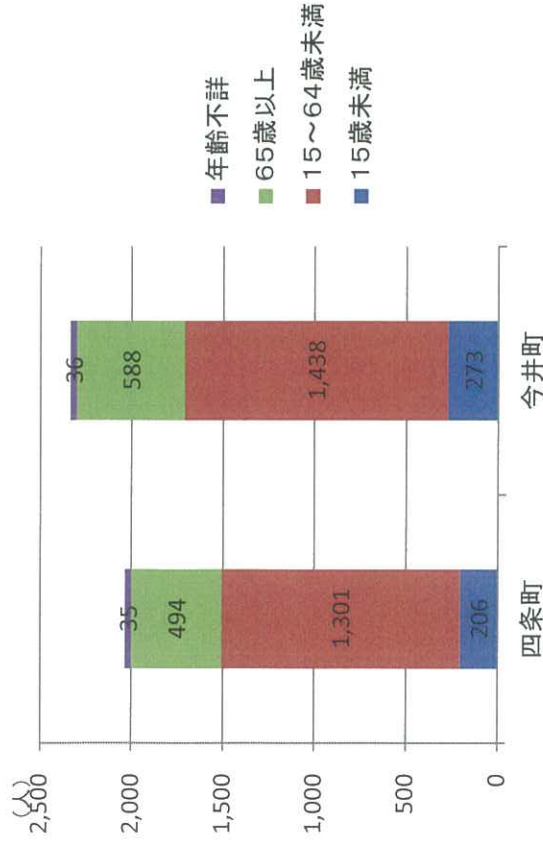
凡	例
[Red outline]	都市計画区域界
[Green outline]	市街化区域
[Yellow outline]	都市計画道路
[Orange outline]	駅前広場
[Blue hatched]	奈良山麓歴史地区
[Green hatched]	地区計画区域
[Purple hatched]	重要伝統的建造物群保存地区
[Red hatched]	重要伝統的建造物群保存地区
[Blue hatched]	工業地域
[Green hatched]	公園
[Red hatched]	歴史的保存区域
[Blue hatched]	その他都市施設
[Green hatched]	第1種住居地域
[Yellow hatched]	第1種住居地域
[Orange hatched]	第2種住居地域
[Blue hatched]	近隣商業地域
[Purple hatched]	準工業地域
[Red hatched]	工業地域
[Green hatched]	公園
[Red hatched]	その他都市施設

地区の概要

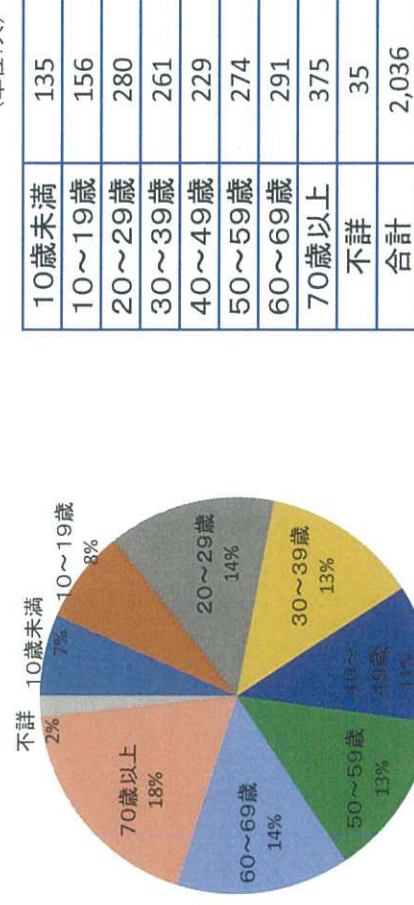
<人口>

- ・ 附属病院、医大新キャンパス計画地・・・四条町
- ・ 重要伝統的建造物群保存地区・・・今井町

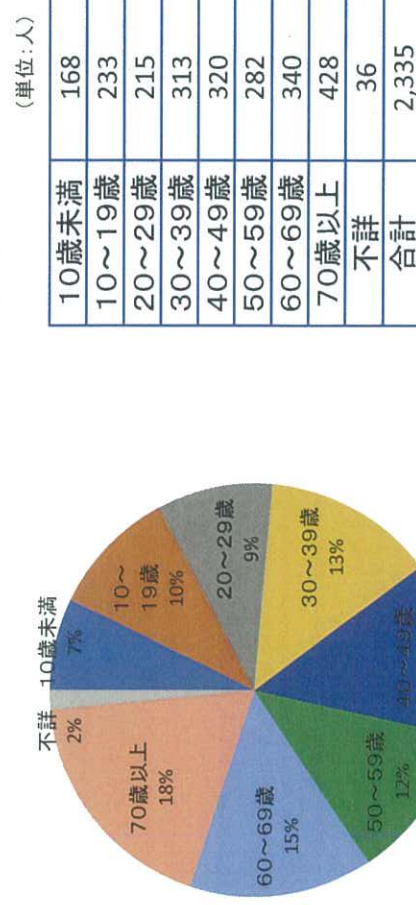
■ 四条町・今井町の年齢別人口



■ 四条町の人口構成割合



■ 今井町の人口構成割合

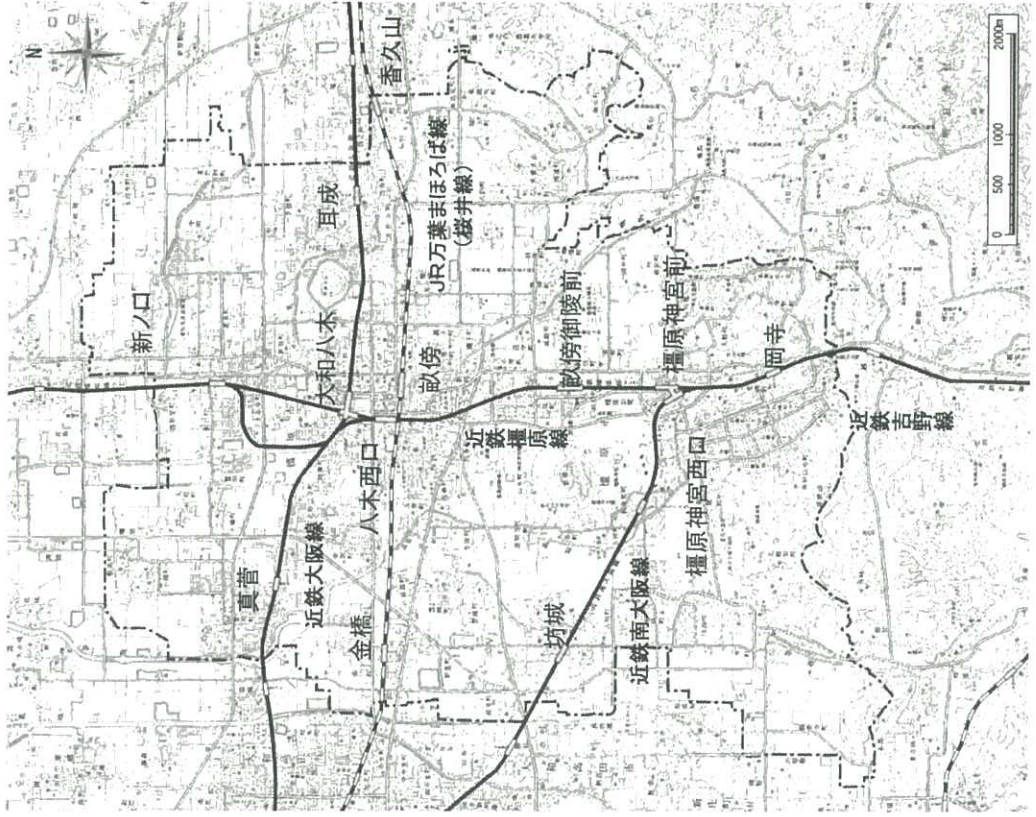


	四条町	今井町
15歳未満	206	273
15～64歳未満	1,301	1,438
65歳以上	494 (24.2%)	588 (25.2%)
年齢不詳	35	36
合計	2,036	2,335

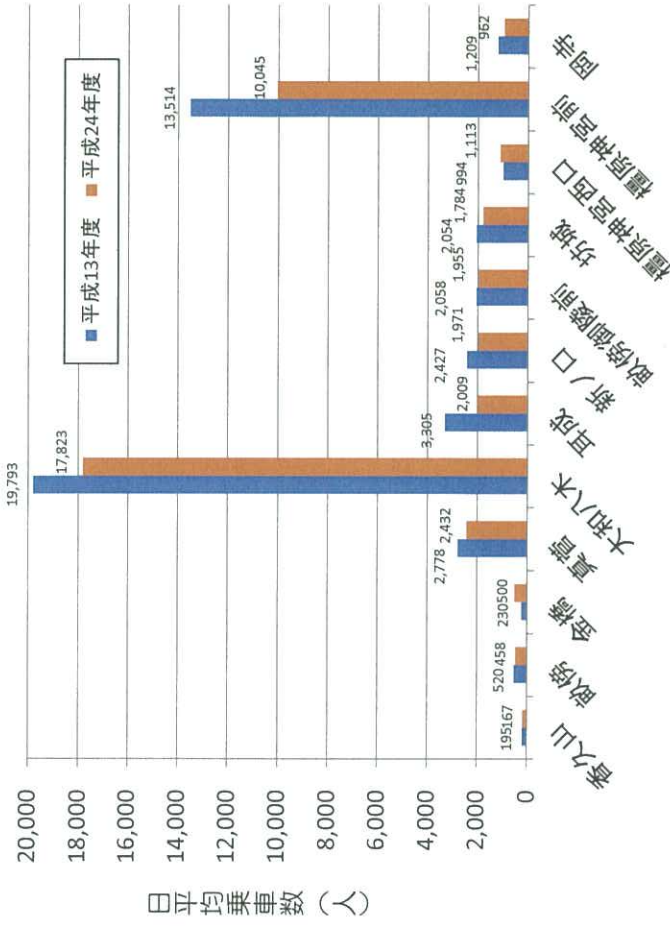
高齢者の割合は、四条町で24.2%、今井町で25.2%と
橿原市内の平均である21.7%を上回っている

〈鉄道〉

JRの万葉まほろば線（桜井線）、近鉄の大阪線・南大阪線・吉野線の全5路線で13駅が立地している。平成24年度の鉄道乗車人数は、平成13年度と比較して、市内11の駅において減少している。



駅別乗車人数



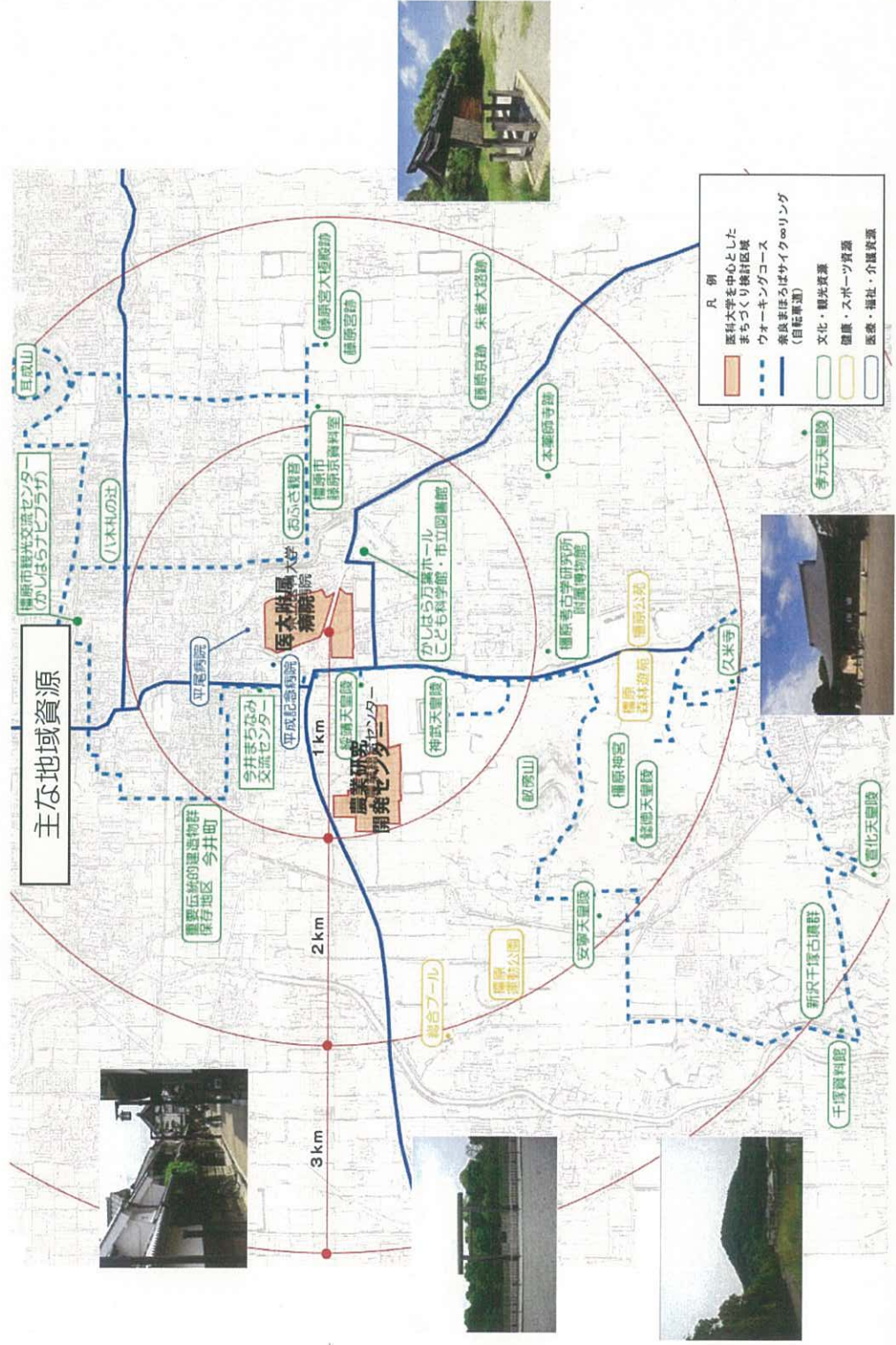
* 八木西口駅の乗車人員は、大和八木駅の乗車人員に含まれている

出典：奈良県統計年鑑（平成13年版、平成24年版 奈良県統計課）

地区の概要

<施設立地状況>

重要伝統的建造物群保存地区に指定されている今井町や八町のまち並み、橿原神宮など様々な観光資源が市内各所に存在しており、またそれらの観光資源を巡るウォーキングコースと、市内外の移動に便利な自転車道が整備されている。



<地区の現状と課題>

- 医大のキャンパス移転と医大附属病院の再整備
- 医大新キャンパスや広域消防組合消防本部への周辺地域からのアクセス機能が脆弱
- 小房交差点、四条町交差点付近の慢性的な渋滞により、医大附属病院を核としたまちづくりや緊急車両の発着機能に支障が生じている
- 重要伝統的建造物群保存地区に選定されている「今井町」など、空き家の増加や町家の損傷など景観が阻害されている

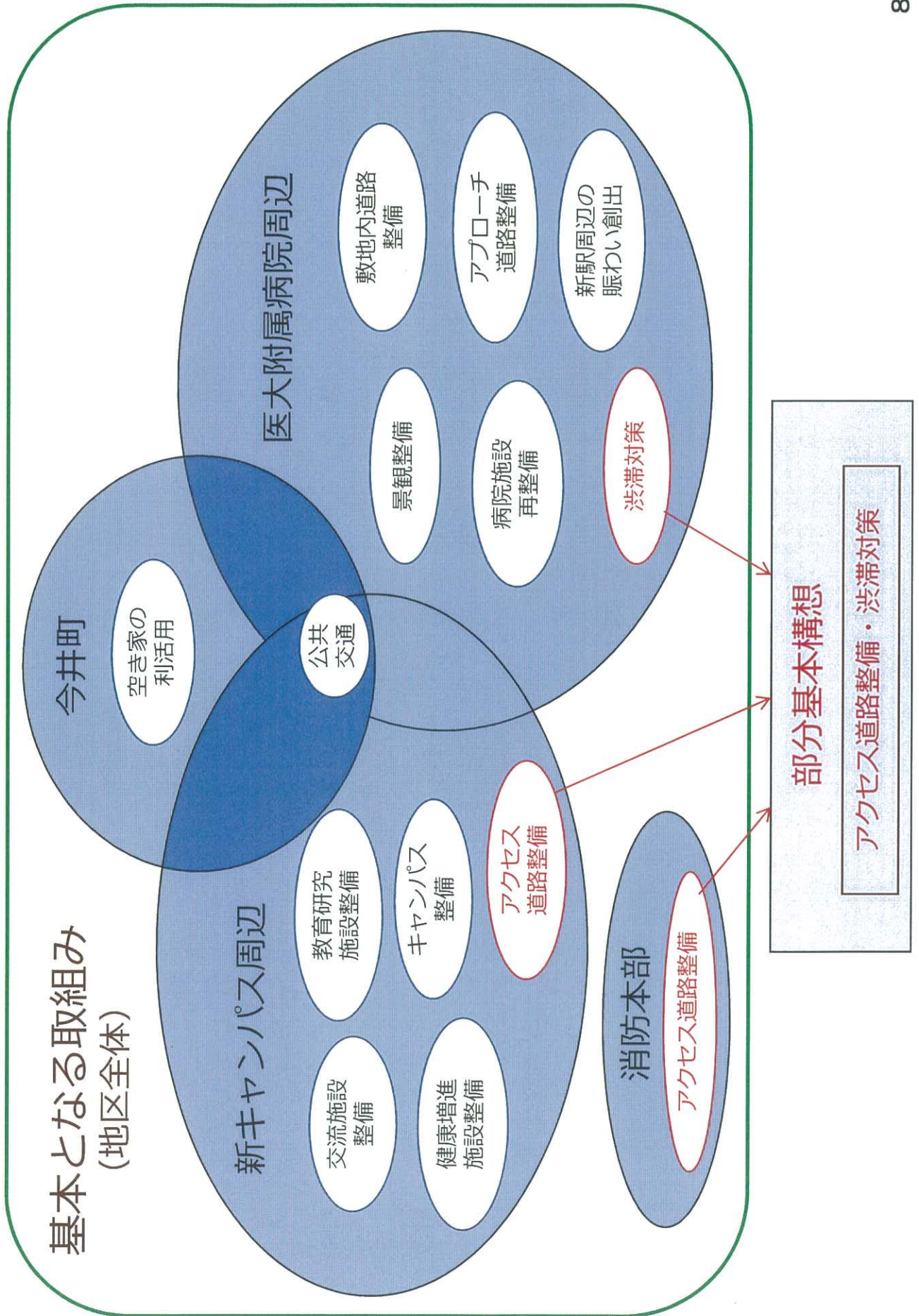
<まちづくりの目標>

医大を中心とした、公共インフラ整備や地域特性を活かしたまちづくりを行い「快適な生活を育むまち」を実現する

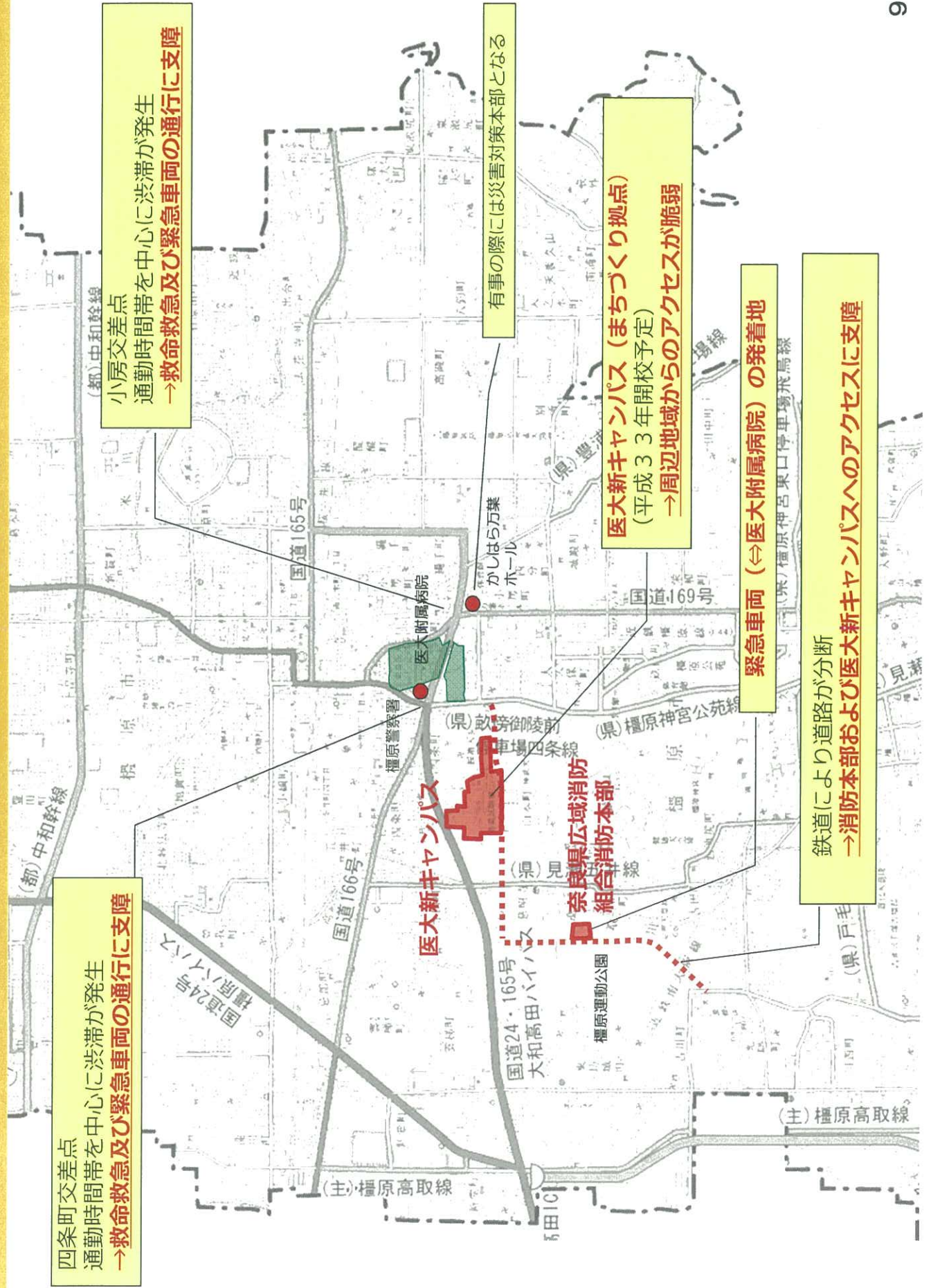
<コンセプト>

医大および医大附属病院を核とする「橿原キャンパスタウン」の形成

部分基本構想について



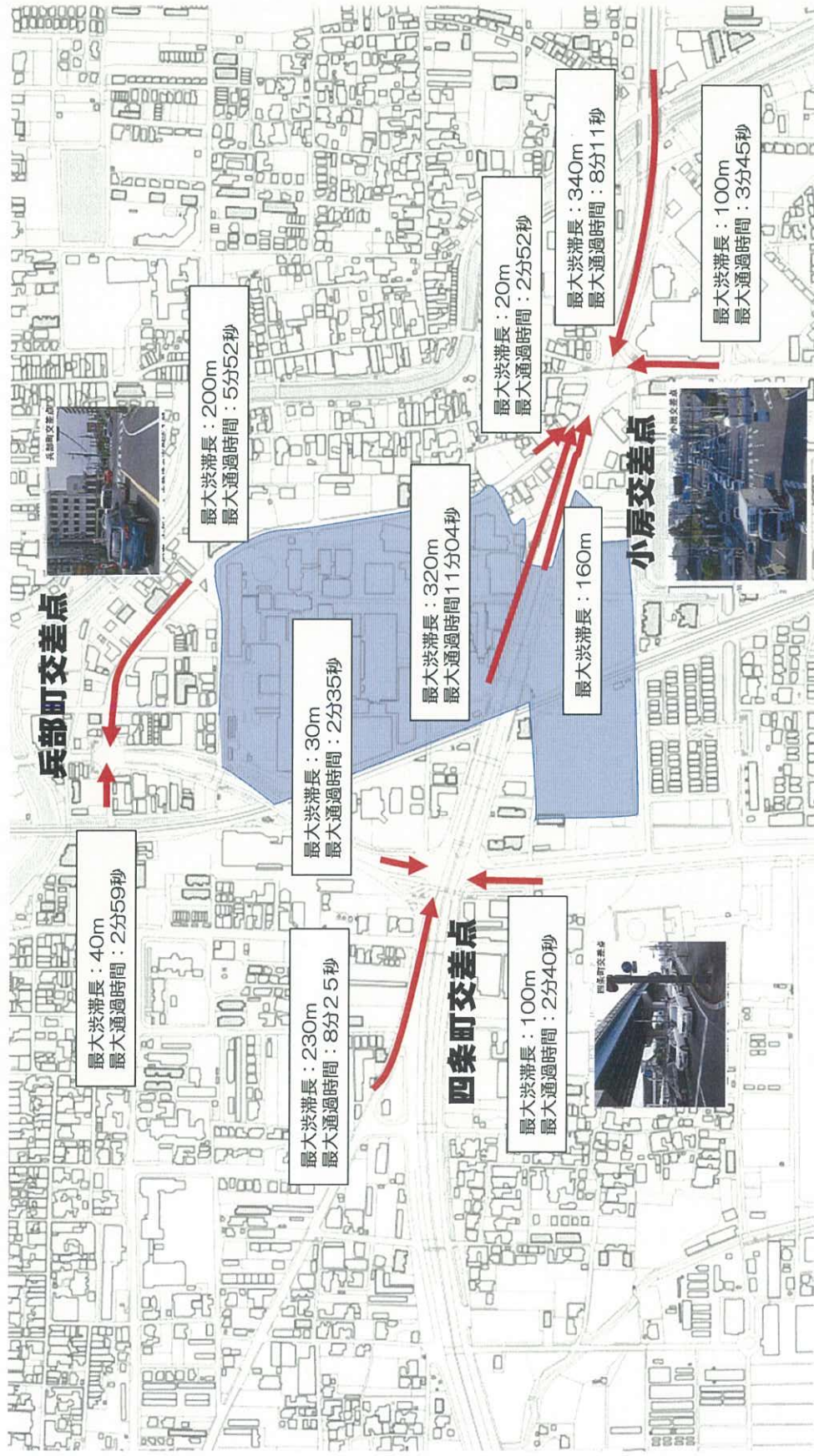
現状と課題【部分】



現状と課題【部分】

医大周辺の渋滞状況

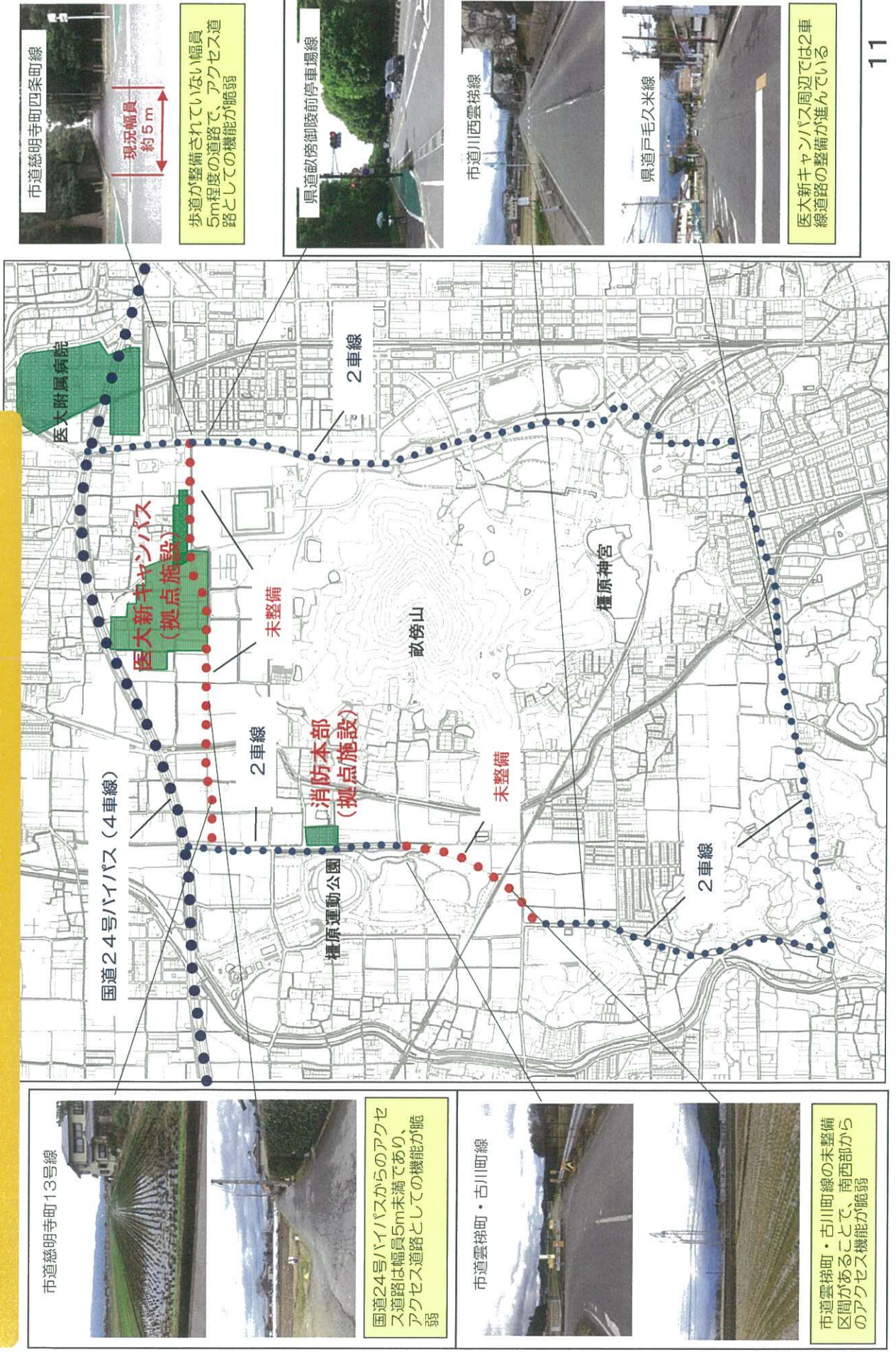
小房、四条町および兵部町交差点とも慢性的に渋滞が発生しており特に小房交差点の渋滞が深刻



奈良県道路建設課にて平成24年6月、12月に調査を実施

現状と課題【部分】

医大新キャンパス・消防本部へのアクセス



市道慈明寺町13号線



国道24号バイパスからのアクセス道路は幅員5m未満であり、アクセス道路としての機能が脆弱

市道雲梯町・古川町線



市道雲梯町・古川町線の未整備区間があることで、南西部からのアクセス機能が脆弱

市道慈明寺町四条町線



歩道が整備されていない幅員5m程度の道路で、アクセス道路としての機能が脆弱

県道政傍御陵前停車場線



市道川西雲梯線



県道戸毛久米線



医大新キャンパス周辺では2車線道路の整備が進んでいる

〈基本方針〉

- まちづくりの拠点となる医大新キャンパスや広域消防組合消防本部への周辺地域からのアクセスの向上
- 医大周辺道路の渋滞緩和による救急救命や緊急車両の発着機能の向上

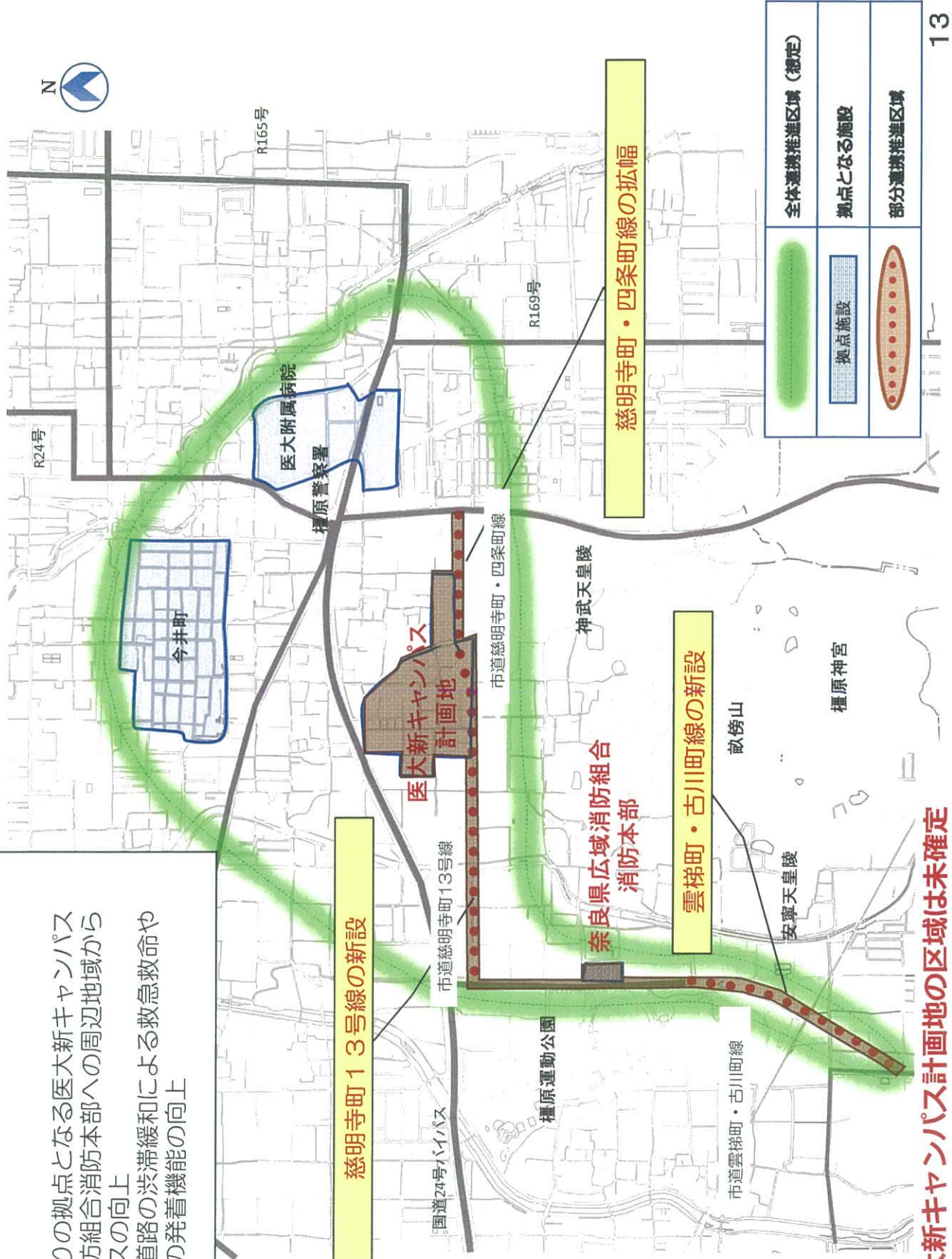
〈基本となる取組み〉

- 慈明寺町・四条町線の拡幅
- 慈明寺町13号線の新設
- 雲梯町・古川町線の新設

まちづくりの構想図【部分】

基本方針

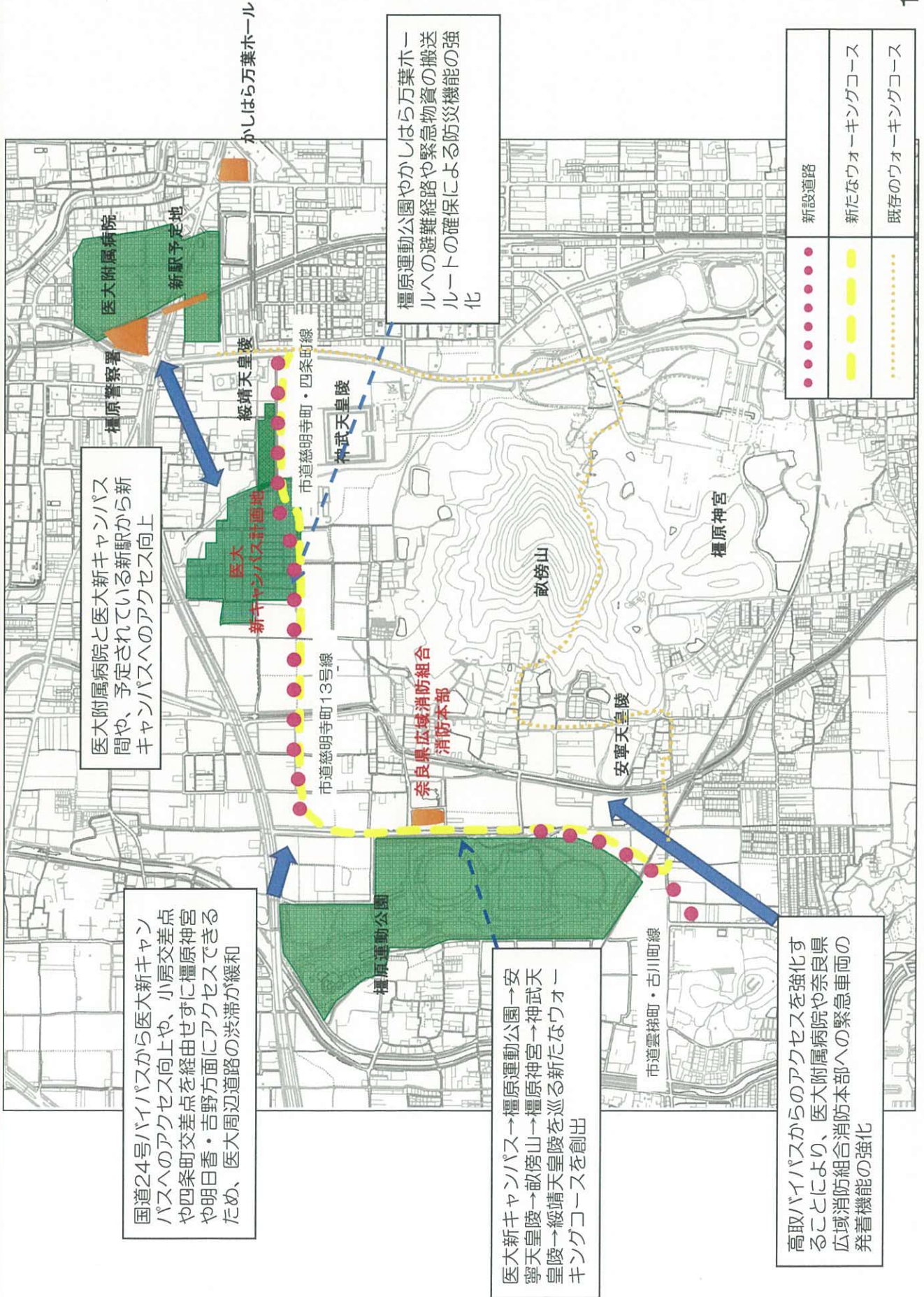
- まちづくりの拠点となる医大新キャンパスや広域消防組合消防本部への周辺地域からのアクセスの向上
- 医大周辺道路の渋滞緩和による救急救命や救急車両の発着機能の向上



	全体連携推進区域（想定）
	拠点となる施設
	部分連携推進区域

※ 医大新キャンパス計画地の区域は未確定

アクセス道路の整備による効果



【参考資料】 医大周辺道路の交通量推計

